

(幹事 岡山 正人)

2005年5月27日(金)13時30分より15時40分まで、東京海洋大学越中島キャンパス内越中島会館集会室1・2において、第25回の物流研究会が約30名の参加者を得て開催された。

ここ数年、春季の研究会では「物流関連講習会」を行うこととなっている。「物流関連講習会」とは、物流に関連する様々なテーマを取り上げ、それに詳しい方に講演をしていただくものであるが、今回はその5回目である。また、講習会に引き続き例年通り「研究会総会」が行われた。

それぞれの概要は以下の通りである。

1. 物流講習会

今回で5回目となる「物流講習会」は、以下のテーマで行われた。

講習テーマ：「日立物流の3PL」

講演者：藤谷寛幹((株)日立物流

LE投資戦略部長)

「3PL(サードパーティ・ロジスティクス)」とは、荷主企業の物流機能全般を一括して請け負うアウトソーシングサービスのことで、現在の物流ビジネスにおいては非常に重要視されているもののひとつである。今回は「(株)日立物流」における3PLの紹介であった。内容は日立物流の経営戦略の歴史を振り返りながら、事業戦略の中における3PLの位置づけを明確にするなど、大変わかりやすいものであった。特に、3PLの事例では講演者である藤谷氏が直接携わったものが紹介され、具体的で臨場感もあり大変興味深いものであった。

物流研究は本来、実務に役立つものを目指している。しかしながら、本学会のみならず物流に関する研究成果の多くは必ずしも実務レベルで通用するものばかりではなかったように思う。これは、学会等で活動する者の多くは大学等の教員であり、実務を経験したものが少ないことや、実務者との交流もあまり成されてこなかったことなどが大きな理由であろう。今回のように実務に精通された方からの講習を聞くと、改めて実務者との交流の必要性を感じると同時に、本研究会がこうしたことに少しでも寄与できればと感じた。